

学年	中学1年	教科	国語科	科目	国語	単位数	5
教科書名	国語1 (光村図書)		副教材名	常用漢字の級別学習コンプリート新装版(京都書房) オールマイティアクティブ国語中2(康文社) 解いて覚える中学生の文法 (東京法令出版) 活用資料集 漢文名文選故事成語遍 (筑摩書房)			
コース・クラス	中高一貫						

I. 目標

目的や場面に応じ、社会生活に関わることなどについて立場や考えの違いを踏まえて話す能力、考えを比べながら聞く能力、相手の立場を尊重して話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを広げようとする態度を育てる。

II. 授業のねらい

- 異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ、論理的な構成や展開を考えて話す能力をつける。
- 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にし、文章の構成を工夫して書く能力をつける。
- 文章の内容や構造を正確に読み取り、根拠を明確にして自分の考えをまとめる力をつける。
- 古典作品に触れる中で、自国の文化への興味・関心を深める。

III. 授業の進め方

- 講義形式だけでなく、必要に応じてペアワークやグループ学習も行う。
- 単元の内容理解を主とし、文章の構成や表現方法を学習していく。その中で初見問題など演習の時間も多く取り入れる。
- 確認テストを適宜実施し、内容理解を深める手立てとする。また、漢字テストを毎週実施し、語彙力の定着を図る。

IV. 学習上の留意点

- 配布したプリントはノートに貼るかファイリングし、整理・保管しておく。
- 積極的に授業に参加するとともに、必要な情報や自分の考えをノートにまとめる。
- 確認テスト・小テストの計画表を確認し、必ず事前に対策を行う。

V. 定期試験

- 1 学期 中間試験 : 『シンシュン』、『ダイコンは大きな根?』、文法、百人一首、初見問題
- 1 学期 期末試験 : 『ちょっと立ち止まって』、『大人になれなかった弟たちに……』、文法、百人一首、初見問題
- 2 学期 中間試験 : 『比喩で広がる言葉の世界(詩)』、『星の花が降るころに』、『「言葉」を持つ鳥、シジュウカラ』
百人一首、初見問題
- 2 学期 期末試験 : 『竹取物語』、『「不便」の価値を見つめ直す』、文法、百人一首、初見問題
- 3 学期 学年末 : 漢文(矛盾・漢文名文選より出題)、『少年の日の思い出』、文法・百人一首・初見問題

VI. 評価の方法

- 定期試験…授業内容をしっかりと理解し、それを応用することができる。
- 小テスト…計画的に自学自習を行い、意欲的に小テストに臨むことができる。
- 提出物…課題に対して期限を守り、真摯に取り組むことができる。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	『シンシユン』 『ダイコンは大きな根?』 言葉の単位	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・小テスト ・提出物 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の言動を描いた表現を手がかりにして、心情の変化を読み取る。 ・場面の展開に沿って、登場人物の関係の変化を捉える。 ・段落の役割や段落どうしの関係に着目して文章の構成を捉え、内容を読み取る。 ・文法学習の重要性を理解している。 ・文節や単語などの言葉の単位について理解している。
	5	文節の働き 百人一首		
	6	『ちょっと立ち止まって』 『大人になれなかった弟たちに…』		
	7	文の組み立て 単語のいろいろ オールマイティアクティブ 百人一首		
二学期	9	『比喩で広がる言葉の世界』 『詩の世界』	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・小テスト ・提出物 	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の中で使われている言葉の意味を的確に捉える。 ・諷刺表れている物の見方を捉え、自分の考え方を広くする。 ・比喩の表現について理解して、描かれている内容を想像する。 ・場面と場面、場面と人物などの描写を結び付けて、作品を読み深める。 ・筆者の意見とそれを支える根拠の関係を理解する。 ・文章の構成や展開の効果について、根拠を明確にして考える。
	10	『星の花が降るころに』 『「言葉」を持つ鳥、シジュウカラ』 オールマイティアクティブ 百人一首		
	11	古典の世界		
	12	『竹取物語』 『「不便」の価値を見つめ直す』 活用のない自立語 名詞・連体詞・副詞・接続詞・感動詞 オールマイティアクティブ 百人一首		
三学期	1	漢文 矛盾・漢文名文選より1題	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・小テスト ・提出物 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓読に必要な決まりを知り、漢文特有のリズムを味わう。 ・故事成語の由来となった出来事を背景知識も含めて理解する。 ・場面展開や人物の描写に注意して作品を読み、登場人物の心情の移り変わりを捉える。 ・伏線に着目することで、作品の読みを深め、作品の構成の工夫についての自分の考えを持つ。 ・活用形や動詞の活用の種類について理解する。 ・百人一首大会に向けて決まり字や競技方法について理解する。
	2	『少年の日の思い出』		
	3	述語になる単語（動詞） 百人一首（百人一首大会） オールマイティアクティブ		

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。